

1 追憶の陽炎（仮）収録台本

2  
3 (■トラック1)

4  
5 ■状況：巫女がヒロインに語りかけている

6 ■効果音：北風の音（冬らしい音）

7  
8 ≪巫女：位置：前【普通】≫

9 後悔はありませんか？心の奥底に癒えない傷はありませんか？  
10 誰にも云えない傷はありませんか？

11  
12 もしも後悔をやり直せるなら……あなたならどうします？

13 陽炎が揺れ、たゆたう視界の先に望むものはありますか？

14  
15 ……そうですか。

16  
17 追懐の情に思いを馳せる人のみ、この追憶の社は姿を現します。

18  
19 あなたは後悔を胸に抱えたまま、人生の幕を閉じるつもりでしょうか？

20  
21 ……。それが貴方の選択であるのですね。

22 ではひとつお話をしましょう。

23  
24 これは追憶の陽炎に身を投じた一人の青年のお話です。

25 淡く青い恋心を宿したまま成長してしまった、一人の青年が追想の旅に出た物語。

26  
27 目をつむり……耳を傾けて下さい。聞こえてくるはずです夏の音が。

28 ——過去の音色が。

29  
30 ■効果音：遠くから蝉の音をフェードインで流し、すぐフェードアウト

31

32 (■トラック 2)

33 ※回想。パート※

34 ■効果音：セミの鳴き声

35 ▼位置：前【普通】

36 ▼体制：立っている

37 ≪小夏≫

38 君は好きな人とかいるのかな？

39 ……あのね、私はいたことないんだ。

40 誰かに好きになってもらえたことも、好きになったことも、まだないんだあ。

41 誰かを好きになるってどんな気持ち？もしよかったら教えてくれる？

42 っつ、ふふ、小学生にはまだ早かったかな？

43 ……え？ いるの？ ふへへおませさんだね。

44 そっかあ、いるんだあ。

45 ▼心情：いつか私の前からいなくなってしまうことに悲しんでいる。

46 ▼演技指示：少し悲しげな吐息

47 ……。

48 ……うん、お姉さん応援しちゃうよ。

49 これでも年上のお姉さんだからね、君の恋を、うん、応援するよ！

50 それで、どんな子が好きなの？お姉さんに教えてみてよ。

51 同級生の子とか、それとも年下？ふへへ甘酸っぱいね。

52 もしくは担任の先生とか？ 禁断の恋ってやつだあ。

53 どんな人でもお姉さんは応援するよ。

54 もしも、君の家族や友達に反対されても、私だけは君を応援してあげる。

55 君の恋が叶うように頑張るよ。

56 それで、好きな子の名前はなんて言うのかな？

67

68 ■効果音:立ち上がる音(主人公)

69  
70 って、え？ あれ……もう帰っちゃうの？

71  
72 そっか……。

73  
74 ▼演技指示:何かをいいかけて誤魔化す

75  
76 あっ……ううん、なんでもない。

77 それじゃね……ばいばい。

78  
79 ■効果音:走って離れる音 フェードアウト

80  
81 ※回想終了※

82  
83 ■効果音:冬らしい風の音 フェードインからループ

84 ■効果音:雪が積もる階段を上げる音

85 ≪巫女≫

86 ▲位置:前【普通】

87  
88 ようこそ、追憶の社へ。

89  
90 如何致しましたか？

91 亡霊を見たかのように怯えて目を見開き、青ざめておられますが？

92  
93 ああ、この廃神社に、巫女がいることを不思議に思っているのですね。

94  
95 不思議はありません。

96 例え神社がなくなろうとも、神に仕えるのが巫女の役目。

97 建物の有無はさして重要ではないのです。

98  
99 神に祈り、舞を奉納し。そしてこの身を神に捧げる。

100 私の役目はただそれだけです。

101  
102 こちらからも尋ねてよろしいでしょうか？

103 あなたはどうしてこの社へ足を動かしたのでしょうか？

104 ……そうですか思い出の地を巡っているのですね。  
105 この神社にも思い入れがある、ということですか？  
106

107 ……そうですか、それは喜ばしい事です。  
108

109 町は寂れ、任人がどんどんこの地を離れていきます。

110 この神社も例外ではなく参拝する方々が減り、過疎化の一途をたどり、  
111 今のような廃神社となったわけです。

112  
113 ですから思い出を辿り、再びこの社に足を運んで下さったことがとても嬉しいです。  
114

115 この社にはどんな思い出が、思い入れがあるのでしょうか？  
116

117 ……初恋。なるほど……それはとても青いお話ですね。  
118

119 いえ、気持ち悪くなんてありません。

120 幼き心であっても、人が人に恋する気持ちにケチなんて付けられません。

121  
122 ケチなんて付けたら罰が当たりますよ。  
123

124 はい、これでも巫女ですから、信憑性は抜群かと存じます。  
125

126 巫女さんジョークです。あまり面白くありませんでしたか？  
127

128 こほん、………そういえば、近くの小学校もそろそろ廃校するらしいですね。  
129

130 ……さようですか。あなたの出身校だったのですね。

131 なくなる前に一目見に来た、そんなところでしょうか？

132 過去に思いを馳せ、この地に再度足を運んだ。

133  
134 なるほど、納得です。………いえ、こちらの話です。  
135

136  
137 久方ぶりに訪れた町の感想は如何でしょうか？  
138  
139

140 懐かしく、温かく、寂れて、冷たい。

141 あの頃の想いが積もり、思い出が残雪のように消えていく。

142 そんな感想を抱いたものではありませんか？

143 ……凶星のようですね。

144 ……凶星のようですね。

145 けれど一部の残雪が溶けずにいる。春が来て夏が訪れ、秋が巡っても。

146 この町の雪はずっとここにありません。

147 ……この町の雪はずっとここにありません。

148 後悔という名を残し、ずっとこの町に、あなたの心の中に。

149 ……後悔という名を残し、ずっとこの町に、あなたの心の中に。

150 ……後悔という名を残し、ずっとこの町に、あなたの心の中に。

151 臍を噛む。とまでいかなくとも、

152 亀裂のような悔いが、抜けないではありませんか？

153 ……亀裂のような悔いが、抜けないではありませんか？

154 ……亀裂のような悔いが、抜けないではありませんか？

155 この町でやりきれなかったこと、やり残したこと、やり直したいこと。

156 あなたの心に思い残したことが、あったではありませんか？

157 ……あなたの心に思い残したことが、あったではありませんか？

158 ……あなたの心に思い残したことが、あったではありませんか？

159 ……あなたの心に思い残したことが、あったではありませんか？

160 もしも、後悔したあの頃に戻れるなら、あなたはどうしますか？

161 ……もしも、後悔したあの頃に戻れるなら、あなたはどうしますか？

162 ……もしも、後悔したあの頃に戻れるなら、あなたはどうしますか？

163 ……もしも、後悔したあの頃に戻れるなら、あなたはどうしますか？

164 この神社、追憶の社は後悔を胸に抱え、過去に捉われている者の前に姿を現します。

165 ……この神社、追憶の社は後悔を胸に抱え、過去に捉われている者の前に姿を現します。

166 あの頃に戻り、悔いの残らぬ選択をすることで、

167 わずかですが過去のしがらみから解放されるはずで。

168 ……わずかですが過去のしがらみから解放されるはずで。

169 その手助けをする。それがこの社の意義です。

170 ……その手助けをする。それがこの社の意義です。

171 ……その手助けをする。それがこの社の意義です。

172 ……その手助けをする。それがこの社の意義です。

173 ……その手助けをする。それがこの社の意義です。

174 救えるのはいつの世も自分自身でしかありません。

175 神は人を救わない。信仰者であっても軽侮者であっても等しく神は救わないのです。

176 神は公平にあらず平等なお方ですから。

177

178 しかし求める者がないがしろにするわけではありません。

179 過去に悔いを持っている者には等しく追憶の社は姿を現します。

180

181 過去に戻り、後悔のあった日に戻り。もしもを追体験することができます。

182

183 もう一つ注意点です。

184

185 過去に戻り、結末を変えたとしても、現実は変わりません。

186

187 悔やみ続けたあなたの足跡は変わらず残り続けます。

188

189 追体験——。あったかも知らない蓋然性を体験するだけです。

190

191 そうですね……一時の夢を見るようなものだとお考え下さい。

192

193 泡沫の夢。陽炎のように実態を伴わない、過去のやり直しです。

194

195 気休めと言えばそれまでのことです。

196

197 仮にあなたが過去に戻り人を殺したとします。

198

199 しかし現在に戻ってもその人は何ら変わらず生きています。

200

201 もしも過去に死んでしまった人をあなたが救ったとしても、

202

203 その人が蘇ることはありません。

204

205 事実は曲げられません。

206

207 どのような行動を過去で起こそうとも、結果は変わらない。

208

209 それでもいいと言うなら……この鳥居を潜り抜けて下さい。

210

211 ■ 効果音：鈴の音

212

……。

213

214 どうなされましたか？ 私の話が信じられないのでしょうか？

215

216 それでも構いません。

212 その場合は背を向けて足を出して後退してください。  
213 それでおしまいのお話です。  
214  
215 しかし、僭越ながら一言申し上げさせてもらいます。  
216  
217 ……。  
218  
219 悩み、また後悔するのですか？  
220 踏み出せない自分に苛立っていたのではありませんか？  
221  
222 今もなお踏み出せない自分に嫌気が差しているのではありませんか？  
223  
224 おっと、一言多かったですね。失礼致しました。  
225  
226 改めてお訊きします。  
227  
228 後悔はありませんか？ やり残したいことはございませんか？  
229  
230 ……承知致しました。では神の代わりに私が手助け致しましょう。  
231  
232 目の前に映る、鳥居を潜り抜けて下さい。  
233 目をつむって、あなたの後悔を追想しながらゆっくり一歩ずつ。  
234  
235 さあ、目を閉じて。  
236  
237 後悔した日を思い返し、後悔した出来事を思い出し、  
238 後悔した自分を強く認識して下さい。  
239  
240 ■効果音:足音(雪)  
241 ■効果音:鈴の音  
242  
243 足を前に。一歩進むごとに、あなたの後悔は色あせる。  
244  
245 ■効果音:足音(雪)  
246 ■効果音:鈴の音  
247

248	黒く歪んだ後悔が少しずつ移ろう。
249	
250	■効果音:足音(雪)
251	■効果音:鈴の音
252	
253	一歩、一歩……。
254	
255	はい、最後の一步です。
256	
257	お気をつけて、過去は甘く脆い毒の味がします。
258	
259	また戻れることを切に祈っております。
260	
261	いってらっしゃいませ。
262	
263	■効果音:足音(雪)
264	■効果音:鈴の音
265	

266 (■トラック 3)

267

268 ■【主人公】座っている

269

270 ≪小夏≫

271 ▼位置…前【普通】

272 ▼体勢…立っている

273

274 ■効果音:近づく足音

275

276 ……お待たせしちゃったかな？

277 ごめんね。その、他の駄菓子に移りしちゃって…

278 待ってる間、寂しくなかった？ この神社、あんまり人が来ないから…

279

280 ……ふふ、そう？ 私が思ってるより、ずっと男の子なんだねえ

281 …はい、これ。約束のラムネだよ

282

283 ■効果音:袋の中からラムネの瓶を取り出す音。軽く瓶同士が擦れる音も

284

285 隣、座ってもいい？

286

287 ……ありがとう。じゃあ、お邪魔しちゃうね

288

289 ■効果音:神社の縁側に腰掛ける音 右

290 ▼位置…次の台詞を言いながら、前【普通】↓右【近】に移動

291

292 ……よしよっと

293 ー、おかしいなあ……。私、じゃんけんは強かったはずなのに。

294 次は負けないからね？

295

296 ……あれ、どうしたの？ なんだかぼーっとしてるけど……。

297 もしかして熱中症とか……。

298

299 ▼位置…次の台詞を言いながら、右【近】↓前【近】に移動

300

301 ちょっと、おでこ貸してね

302 ■効果音:額をくっ付ける音

303  
304 ……うーくん、温かいけど、熱はないのかな？

305  
306 わわ、顔真っ赤だよ……。ふへくどうしたどうした。

307  
308 もしかして、照れちゃった？ お姉さんに、おでここっぴんってされて、  
309 照れ照れしちゃったの？

310  
311 ▼位置:次の台詞を言いながら、前【近】↓右【近】に移動

312  
313 そういうところも、意外と男の子なんだね。

314  
315 熱はないみたいだけど、身体を熱くし過ぎると本当に熱中症になっちゃうから、  
316 早くラムネ飲もつか

317  
318 はい、かんぱい。

319  
320 ■効果音:ラムネの瓶の乾杯の音

321  
322 えっとお、ここを剥がすんだよね

323  
324 ■効果音:ラムネのラベルを剥がす音

325  
326 ……んー？ えとえと……。えへへ、ラムネってどう開けるんだっけ

327 …ち、小さい頃はね、ラムネ…飲んだことあったんだよ？

328 でも、最近を買ってなかったし……。お家には麦茶しかないから

329 ちよつと下忘れちゃったっていうか……。あ、もう、今笑ったでしょー

330  
331 ……ふふ。でも、良かった。やっといつもの君に戻ってくれたね

332 さっきまで、ちよつと普段と違う感じ…みたいな

333 なんだか難しいお顔をしたから、少し心配してたんだけど……。もう大丈夫だね

334 よしよし。ふふ

335  
336 ……それで、あのう……。ラムネ、どうやって開けるんだっけ。教えてくれると嬉しいなあ

337

338 ▼位置…次の台詞を言いながら、右【近】↓右斜め前【近】に移動  
339  
340 ……あ、お手本を見せてくれるの？  
341 ……うん、うんうん  
342

343 ■効果音:縁側にラムネを置く音  
344

345 まず平らなところに置いて……へえ、この外したキャップを使うんだね  
346 そっかあ、思い出してきたかも。ぐって押し込むと、中のビー玉が落っこちてくるんだよね  
347

348 ■効果音:ラムネの栓を開け、ビー玉が落ちる音 しゅわつとした炭酸の音も  
349  
350 ……わ、すごおい。上手だねえ  
351

352 ▼位置…次の台詞を言いながら、右斜め前【近】↓右【近】に移動  
353

354 よおし、私も……んっ  
355 ……あれ？ ……んっ、んんううう〜  
356 はああ……ダメだあ、君みたいに全然上手く開けられないよお  
357 ねえ、手伝ってくれない？  
358

359 ……あ。えっと、手を重ねるんじゃないかと、両手が使えるように、  
360 ビンを押さえてほしいんだけど……ふふ、そんなに慌てなくても良いのに。  
361

362 なんだか、今日は大袈裟な反応するね？ ……んー、気のせいかな？  
363

364 まあ、そういう日もあるかあ。男子、三日会わずに刮目して見よ、みたいなね  
365 ……ん、ありがとう  
366 それじゃあ、いくよお。せーの……っ、んんううう……っ！  
367

368 ■効果音:ラムネの栓を開け、ビー玉が落ちる音 しゅわつとした炭酸の音も 右  
369

370 あっ、ビー玉落っこちたよお。わあ……。あ、あれ？  
371

372 ■効果音:炭酸が溢れる音 右  
373

374 なんだか、ラムネのしゅわしゅわがすごいよな……ひやつ、溢れてきちやったあ  
375 うう、ベトベトするよお……。あ、ハンカチ使って良いの？ ありがとう

376  
377 これじゃあ、どっちが年上なのか、分からないね  
378 今日の君は、頼りがいがあるかも。たまには私が甘えちやおうかなあ……なんてね  
379 さ、飲もつか。……と、その前に、もう一回だけ乾杯しよ

380  
381 ■効果音:ラムネの瓶の乾杯の音

382  
383 かんぱーい。ふふ  
384

385 ■効果音:ラムネのビー玉が瓶と当たる音 主人公とヒロインの

386 ▼演技指示…次の台詞、んく、んく、はラムネを飲む演技を示しています

387  
388 んく、んく、んく、んく、ふああ…

389  
390 しゅわしゅわで美味しいね。なんだか、懐かしい味がする…

391 小さい頃、家族みんなで夏祭りに行つて、その時に買ってもらったつけ…

392  
393 ▼演技指示…少し悲しげに

394  
395 懐かしい、なあ

396  
397 ■効果音:ラムネのビー玉が瓶と当たる音 右 ヒロインの

398  
399 ……んく、んく……ん。はあ…

400 君は、ラムネとか良く飲むの？

401 学校の帰りに、友達と一緒に駄菓子屋に寄り道とかしちやったり

402  
403 わっ。あれ、どうしたの？ 目がうるうるしちやってるけど…そんなに美味しかった？

404 ……そうなんだあ。このラムネは大当たりだったのかなあ

405  
406 …よしよし。大丈夫？……そっか、えらいね

407  
408 でも、もし泣きたくなっちゃうことがあったら、我慢しなくて良いんだよ

409 私はお姉さんだから、いつでも甘えて良いんだよ？

410 あの時、初めて君と会った日みたいに、私の胸：貸してあげるから  
411 もちろん、今でも良いんだよ？ どうする？  
412

413 ……ふふ、遠慮しなくても良いのに。でも、ほんとに平気そうだね。なら安心だ  
414

415 ■効果音:ラムネのビー玉が瓶と当たる音 右 ヒロインの  
416

417 んく、んく……んく、ふう。

418 ……私のラムネも、美味しい…

419

420 きっと、あの日、夏祭りで飲んだ時とおんなじくらい。それ以上かも  
421 幸せの味がする。君と一緒にだからかな？ ふふ

422

423 いつか、今日飲んだラムネも、思い出の味になっちゃうのかな

424

425 昔、君と一緒に遊んだなあって。誰もいない神社で一人物思いにふける。

426

427 それで切なくてちよっと痛いんだろうね。

428

429 ふふ、君には少し早かったかな？

430

431 大人になると将来が不安になるんだよ……。

432

433 頭がぐわーってして、夜に一人であれこれ考えちゃって、ね。

434

435 未来が怖くなるんだ。

436

437 ……。

438

439 君と話していると、安心する。将来への不安が和らぐ。

440

441 なんだか明るい未来が待ってるような気がする――。

442

443 ……小学生ってね、当たり前だけど、一度つきりなんだよ？

444

445 子供の頃は、毎日がきらきらしていて。楽しくて

446

447 もし戻れるなら、ほんのちよっとでも良いから、やり直してみたいなあ  
448 今思い返すと…だけどね

449

450

446 小学生は、小学生なりに大変かあ。  
447 宿題とか、テスト勉強とか…  
448

449 ずっと遊んでいられたら良いのにとか、色々思うこともあるかもしれないけど、  
450 あの頃が一番楽しいと思うなあ。ずっと楽しい明日が続くと思っていたんだ。  
451

452 なんて、あんまり伝わらないかな  
453

454 ……あれ、分かっちゃうの？ もお、君は現役小学生くんでしょうー  
455 おませさんだねえ。

456  
457 ■効果音:ラムネのビー玉が瓶と当たる音 主人公とヒロインの  
458

459 冗談上手くなったね……んく、んく……はあ  
460

461 ……あ、もう飲んじゃったの？ 飲みっぷりが良いねえ…さすが男の子  
462 暑いから、喉乾いちやうよね。もう一本くらい多めに買っておけば良かったかなあ  
463

464 ■効果音:ラムネのビー玉が瓶と当たる音 ヒロインの 右  
465

466 ……そうだ。そんな君に、はい。私のあげちやう。

467 私のラムネは、君みたいに、大当たりじゃないかもだけど…きっとおいしいよ？  
468

469 ……いらないの？  
470

471 ▼演技指示…次の台詞、小声で  
472

473 良いんだよ、飲んでも  
474

475 ……ん？ んん？  
476

477 ……ふへえ、やっぱりおませさんだね。

478 別に気にしなくて良いのになあ。君はまだ、小学生なんだから  
479

480 ■効果音:ラムネのビー玉が瓶と当たる音 ヒロインの 右  
481

482 ……んく、んく…んく、はあ…  
483 美味しかったあ  
484

485 ■効果音：10秒ほど環境音を流す

486  
487 ……ふう、太陽が落ちてくると、だいぶ涼しくなるね。  
488

489 ……また、この神社で会おっか  
490 もちろん、友達との約束がない日とか、暇な時で良いからね  
491

492 ……え？ 私は…ほら、この場所がお気に入りって言うか…  
493 この神社の縁側で本を読むのが好きなんだあ。  
494

495 夏の日は、よく寄り道しちゃう  
496 屋根もあって、風通しが良いから、お家にいるより涼むのにぴったりなんだよね  
497 それに君にも会えるから――。  
498

499 ……ふう。君の隣は落ち着くなあ…ふう  
500

501 ■効果音：ビニール袋を漁る音 右

502  
503 ……あ、そうだ。ラムネ以外にも、色々買って来たんだよ  
504

505 じゃーん。どう？

506 ……そのう、美味しそうな駄菓子が色々あって、  
507 どれを買おうかなあって迷ってたんだけど…  
508

509 結局、欲しいの全部買っちゃった。えへへ、すごいでしょー、大人買いだよ  
510 男の子なら、たくさん食べれるよね？  
511

512 ……あれえ、自信ないの？

513 まあ、余ったら取っておいても大丈夫だと思っただけ…  
514 ……あ、でも、残したのをお家に持って帰ったら、買い食いが見つかって怒られちゃうかも  
515 私も頑張るから、全部なくなるまで、もうちょっとだけ…一緒にいよ？  
516

517 ……ふう、ありがと。二人に食べ切ろうね？

518

519

520

■効果音：環境音 フェードアウト

(■トラック4)

521  
522  
523 ■効果音:足音 主人公が近づく  
524

525 ■【主人公】立っている

526 ■【小夏】読書をしてる

527 ■効果音:本のページをめくる音

528

529 ≪小夏≫

530 ▼位置:前【普通】

531 ▼体勢:座っている

532

533 ……ん。

534 あ、今日も来てくれたんだね。

535

536 ■効果音:本を閉じる音

537

538 っ)だと暑いから、こっちの日陰においで

539

540 ■効果音:主人公が縁側に腰掛ける音

541 ▼位置:前【普通】↓左【普通】に移動

542

543 ……ん？ なんかいつもより離れてるね？

544 ……いやいや、気のせいじゃないって。私の目は誤魔化せないよ

545 ほーら、もっと寄って？

546 ……む。そっちがその気なら、私の方から近づいちゃうよお

547

548 ■効果音:ヒロインが縁側に座り直す音 左

549 ▼位置:次の台詞を言いながら、左【普通】↓左【近】に移動

550

551 ん、しょ

552 これで元通りだねえ

553 肩を寄せ合った方が、ほっとするでしょ？

554 急に離れたりしたらお姉さん寂しいよ？

555

556 ……なんてね、ふふ

557 ……今日は、何しよっか？ 君はしたいこととかある？

558

559 ……じゃあ、今日はお姉さんに付き合ってもらおうかな

560 実は、良いものを持って来たんだよねえ……えっとお。……あった

561 こーれ、何か分かるよね？

562

563 ……そう、耳かき。オモチャとかじゃなくて、がっかりしちゃったかな

564

565 こーゆーの、一回やってみたくて。お試していうわけでもないんだけど

566 ……耳かき、されてみない？

567

568 ……ほんとに？ やった

569 じゃあ、はい。ここにごろーんして？

570

571 ■効果音:ヒロインが膝をぼんぼん叩く音

572

573 ……ん？ どうしたの？ ここだよ、お姉さんのお膝の上

574 ……あれ？ だって、耳かきっていったら、膝枕だよね？ 違うの？

575

576 ……んー、座ってされるより、膝枕の方がリラックスできて癒されると思うよ？  
あとなんだか座ってだとお医者さんみたいで、風情がないよ。

577

578 せっかくするなら、君に心地良くなっしてほしいから、

580 この前みたいに…私の膝枕に甘えてほしいなあ……ダメえ？

581

582 ……ありがとう。君は優しいね。お姉さん嬉しいよ。

583

584 ▼位置:次の台詞を言いながら、左【近】↓右【近】に移動

585

586 じゃあ今度こそ、おいで

587

588 ■効果音:頭と膝が擦れる音 左

589

590 ……ん。ふふ、ちよっとくすぐったいね

591 ……寝心地——膝枕心地？ どうかな？

592 気になるなら、頭の位置とか、変えても良いんだよ？

593 ……ん。膝枕、気に入ってくれたんだね。嬉しいなあ…  
594 私の膝枕、好きだもんね。ふふ

596 よーしよしい……。あ、耳かきだったよね  
597 ちょうど良い位置に頭があったから、つい撫でちゃった  
598 それじゃあ、始めるよ？ んう……。どれどれえ  
599

600 ■効果音:右の耳かき音 ループ

601 ▼演技指示…ここから、耳かき中は小声

602

603 ……なあに？ 耳の中よおく見ないと、お掃除できないでしょ？

604 ……だいじょーぶ、恥ずかしくないよ……。だから、お姉さんにちゃんと見せてねえ

605

606 ……ん。カリカリ、カリカリ……。カリカリ、カリカリ……

607 耳かき、上手くできてるかな？

608

609 ……ふふ、良かったあ。私ね、手先が器用なのが自慢だから……

610 こーゆー繊細なこと、得意なんだよ

611

612 昔、ピアノを習っていたんだ。お母さんがね、習わしてくれてたの。

613 君みたいな年頃まで頑張って、頑張って、頑張って練習してたなあ。

614 いつからかお母さんが褒めてくれなくなってる……

615 それから習うのは辞めちゃったけど、今もまだ続けてるよ。

616

617 ピアノと違って耳かきをするのは、初めてなんだけど……。ちゃんと上手にできたみたい  
618 ……って、まだまだこれからだけだね

619

620 (アドリブ・息遣い 数秒)

621

622 ……カリカリ、カリカリ…

623 ふふ。いつもは元気いっぱいなのに、すっかり大人しくなっちゃったね…

624 静かにできて、えらいよお。良い子、良い子お

625

626

627 (アドリブ・息遣い・数秒)

628

629 …ふう。やっぱり、こんなふうにゆっくり過ごす時間が、いいねえ…  
630 夏にかけてのことかすると、すぐ汗かいちゃうでしょ？  
631

632 暑い日は、セミの鳴き声を聴いて縁側で、涼をとりながら一緒にまったり…ふう  
633 好きだなあ…：こーゆー時間、ずっと続いて欲しいなあ  
634 …：だから、かな。私が、良くここに来る理由  
635

636 山の麓にある神社だから、町の声が届かなくて…  
637 ここには、自然しかないから。色々なことを忘れて、リラックスできるの…  
638 まるでこの場所だけ、時間がゆっくり流れてるみたい…  
639 不思議…だよ

640  
641 (アドリブ・息遣い・数秒)

642  
643 ただ、一人ぼっちだと、寂しい時もあったりするから  
644 君と出会えて、良かったなあ…  
645

646 …：こうして、やってみたかった耳かきも、できちゃったし  
647 小さな夢、叶っちゃった…  
648

649 (アドリブ・息遣い・数秒)

650  
651 …：ふう。…：お顔、だいぶとろーんってしてきたねえ  
652 …：よし、よし  
653

654 …：そのまま、良いんだよ。…：肩に力が入ってたら、癒されないから  
655 身体をだらーんってさせて、私のお膝に、甘えちゃってね  
656

657 …：このこと、誰かに言いふらしたりしないから  
658 二人だけの、秘密ね…  
659

660 (アドリブ・息遣い・数秒)

661  
662 …：そろそろ、お終いかなあ。…：ちよっぴり名残惜しいね  
663 …：あ、難しい言葉だったかな。えっとね…  
664

665 こんな幸せな時間が、ずーっと続けば良いのに……っていう意味だよ  
666 君も、私と両想いだったりする……？ お膝の上から離れたくないようって  
667

668 ……ふふ、やっとな素直になってくれたね  
669 やっぱり、子供は甘えん坊でなくちゃ  
670

671 (アドリブ・息遣い・数秒)

672  
673 ……安心してね。まだ、反対のお耳もあるから

674 右が終わったら、今度は左……。それが終わったら、また右……。ふふ。

675 そんなふうには繰り返してたら、ずっと終わらないままだね  
676

677 いつかは、必ず終わらなくちゃいけないのに……

678 ……ほら、そう考えると、名残惜しいでしょ

679 ……でも、大丈夫。寂しくないように、小夏お姉ちゃんが側にいるよ……  
680 君のこと、一人にしないから  
681

682 ▼演技指示…小声はここまで

683  
684 (アドリブ・息遣い・数秒)

685  
686 ■効果音:右の耳かき音 ヽヽヽまで  
687

688 ……ふう。はい、お終い

689 ……と、見せかけてえ  
690

691 ▼演技指示…次の台詞、耳に息を吹く。吹かれないイメージをお願いします  
692

693 ……ん、ふうふうふう——

694 ふふ、くすぐりたい？ でも、こういうの好きそうだね  
695

696 ▼演技指示…次の台詞、耳に息を吹く。吹かれないイメージをお願いします  
697

698 ん、ふうふうふう。ちよっとだけおまけ

699 ……さ、反対もお掃除しよっか  
700

701 ▼位置…次の台詞を言いながら、右【近】↓左【近】に移動

702

はい、ごろん

703

■効果音:頭と膝が擦れる音 左

704

……ん。それじゃあ、こっちのお耳もお…

705

■効果音:左の耳かき音 ループ

706

▼演技指示…ここから、耳かき中は小声

707

カリカリ…:カリカリ。…:カリカリ、カリカリ…

708

こっち側はまだ刺激に弱いかなあ

709

だんだん、慣れてくると思うよ…

710

(アドリブ・息遣い・数秒)

711

……ふう。そういえば、汗ばんだり…してないかな

712

君の頭、あったかいから。熱がこもちゃってるかも

713

……ん、大丈夫？ ……なら、良かった

714

(アドリブ・息遣い・数秒)

715

ふふ、お耳…気持ち良いの？

716

……へえ。これでもう、耳かきは完璧になっちゃったかなあ

717

……あ、お耳の形はそれぞれ違うから、君のだけになるけどね

718

……ん？ 他の人にはしないよ？

719

君だけ、特別ね…

720

だって、友達同士で耳かきするのも、ちよっとへんだし…

721

家族は…:私、こう見えて一人っ子だから

722

ほんとは、弟とか…:できれば妹も、ほしかったなあ

723

そしたら、毎日好きなかだけ甘やかせちゃうし…

724

でも、ない物ねだりは良くないから…諦めてただんだけどねえ

725

でも、ない物ねだりは良くないから…諦めてただんだけどねえ

726

でも、ない物ねだりは良くないから…諦めてただんだけどねえ

727

でも、ない物ねだりは良くないから…諦めてただんだけどねえ

728

でも、ない物ねだりは良くないから…諦めてただんだけどねえ

729

でも、ない物ねだりは良くないから…諦めてただんだけどねえ

730

でも、ない物ねだりは良くないから…諦めてただんだけどねえ

731

でも、ない物ねだりは良くないから…諦めてただんだけどねえ

732

でも、ない物ねだりは良くないから…諦めてただんだけどねえ

733

でも、ない物ねだりは良くないから…諦めてただんだけどねえ

734

でも、ない物ねだりは良くないから…諦めてただんだけどねえ

735

でも、ない物ねだりは良くないから…諦めてただんだけどねえ

736

でも、ない物ねだりは良くないから…諦めてただんだけどねえ

737 今は弟みたいな君がいてくれるから満足だなあ。  
738 これからも、お姉さんの傍にいてくれる？  
739 ……ありがとう  
740 それならこれからも、いっぱい私に甘えて良いからね  
741 子供は甘えるのがお仕事なんだから。遠慮しないで、いつでも胸に飛び込んで来てね  
742 ぎゅーってハグしたり、頭をよしよししたり……。今みたいに、膝枕も、してあげるよ  
743 ……え？ ふふ、優しいかな  
744 可愛い子を甘やかしてあげたくなくなっちゃうのは、普通のことだと思うよ？  
745 ……もぉ、遠慮はなしって言ったよね？  
746 それに、膝枕に甘えながら言われてもなあ…。お姉さん離れ、できてないでしょ  
747 ……  
748 (アドリブ・息遣い・数秒)  
749 ……少し真面目な話をするね。私も、君からいっぱいもらってるんだよ  
750 元気とか、楽しい時間とか……たっくんさん  
751 君と出会ってから、私も…甘えちゃってるのかもね  
752 だから、お互い様ってことで……どう？  
753 ……ふふ。納得いってないってお顔だね  
754 でも、ほんとだよ。いつも側にいてくれて、ありがとう  
755 (アドリブ・息遣い・数秒)  
756 ……ふう。それにしても、夏だねえ…  
757 ふと思っただけけど、何があれば夏なのかな  
758 ……んーと。例えば、七月って夏だと思う？  
759 ……だよね。じゃあ、七月になっても、暑くなかったらどう？  
760 もし蝉が鳴かなかったら？ 風鈴の音色が聞こえなかったら？  
761 西瓜が売ってなかったら？  
762  
763  
764  
765  
766  
767  
768  
769  
770  
771  
772

773 ……それって、夏なのかな。……ふふ、分からなくなってきたね  
774 私は、どれが欠けても、夏じゃないって思うな…

775  
776 あとは、縁側で耳かきとか  
777 いっそのこと、夏の風物詩にしちゃおうかなあ……ふふ、なんてね  
778

779 (アドリブ・息遣い・数秒)

780  
781 ……ふう。そろそろ、こっち側もお終いかな

782 元々、お耳綺麗だったし。あんまりやりすぎるのも、良くないから  
783 少し物足りないくらいが、ちょうど良いのかも

784  
785 ……だって、その方が、またしてほしくなるでしょ？

786 これつきりってわけじゃないから。またしてほしくなったら、言ってね

787  
788 ……それか、私の方からお願ひしちゃうかも。耳かきしたいなって  
789 ……断ったりしないよね？

790  
791 ……ふう、意地悪しちゃだーめだからね？

792 また、私に耳かきさせて、ね…。約束……

793  
794 ▼演技指示…小声はここまで

795  
796 (アドリブ・息遣い・数秒)

797  
798 ■効果音・左の耳かき音 ぐぐぐまで  
799

800 ……ふう。あとは、仕上げのお…

801  
802 ▼演技指示…次の台詞、耳に息を吹く。吹かれないイメージをお願いします  
803

804 ふふうふうふう——

805  
806 おまけのもう一回

807  
808 ふふうふうふう——。

809

ふふ。はい、お疲れ様

810

初めてだったけど、ちゃんと癒されてくれたかな？

811

……ふふ。あれ、もう頭、起こしちゃうの？

813

……うん、確かに耳かきは済んだけど、膝枕はまだお終いって言ってないよ？

814

陽射しは柔らかくなったけど、お外はまだ明るいから

815

このまま、お膝の上で甘えててほしいな……

816

……ふふ、よしよし……

817

(アドリブ・息遣い・数秒)

819

■効果音:風が吹いて木の葉が揺れる音

822

……ふう。風が気持ち良いね……

824

……昨日より、少しだけ涼しくなったかな

825

こうして夏が終わっていくのかな？

826

杪夏が近い……。終わりが近いなあ。

827

……ううん、なんでもないよ。

828

夏が終わっても、また君と一緒に過ごしたいって思っただけ。

831

どれだけ寒くなっても、私のお膝の上は、小さなお日様があるみたいに、あったかいからね。

832

……ふふ

833

834

835

836 (■トラック5)

837  
838 ■【主人公】立っている  
839

840 ≪小夏≫

841 ▼位置：前【普通】

842 ▼体勢：座って寝ている  
843

844 ■効果音：蝉の鳴き声 フェードインしてループ

845 ■効果音：草を踏みしめる音

846 蝉と一緒にフェードインして数秒ほど流してから台詞  
847

848 ▼演技指示：寝ています  
849

850 ……すう、すう……すう……すう……

851 んう……すう……すう……んう？  
852

853 ▼演技指示：寝ぼけている感じの口調でお願いします  
854

855 あ。夢の中まで、会いに来てくれたのお？ 嬉しい  
856

857 ■効果音：草の上から立ち上がる音

858 ■効果音：ハグする音  
859

860 ▼位置：次の台詞を言いながら、前【普通】↓左【近】に移動  
861

862 ぎゅーう。ふふ

863 あったかあい。……ん。…あれ？

864 もしかして、夢じゃなかったり…する？  
865

866 ▼位置：次の台詞を言いながら、左【近】↓前【普通】に移動  
867

868 ……あ、急にハグしちゃって、ごめんねえ

869 私、寝ぼけてたみたいで……。

870 その、君が来るまで、木の下でうとうととしてたら、いつの間にかね……えへへ  
871

872

……え？ それって？

873

目のとこ、何かついてるかな

874

……あ、濡れてる。私…泣いてたの？

875

なんでだろ。悲しい夢でも見てたのかな。あんまり覚えてないや

876

……ふふ、心配してくれてありがとね

877

ただの夢だし、もう忘れちゃったから、平気だよ

880

でも……あれ？ほんとに今って、夢じゃないのかな

881

実は、夢から覚めた夢…っていうこともあるよね？

882

▼演技指示…次の台詞、からかうように

884

自分だと分からないから、君で確かめてみてもいい？

885

■効果音：蝉の鳴き声 フェードアウト

886

■効果音：ハグする音

887

▼位置…次の台詞を言いながら、前【普通】↓右【近】に移動

888

こうやって、ぎゅううううって。ふふ

889

……もお、そんなに照れないですよ。いつもしてることでしょ？

890

もしかして、お年頃なのかなあ。女子とベタベタするのはかっこ悪い、みたいな

891

でも、私は年上のお姉さんだからセーフ、甘えておっけーだよお？

892

▼演技指示…ここから囁き

893

……あれ？ ハグしたいだけなの、バレちゃった？

894

……ふふ、前までされるがままだったのに、だんだん私のことが分かってきたみたいだね

895

というか、少し大人びたような…。態度もそうだけど、言葉遣いとか……んー、勘違いかな？

900

▼演技指示…囁きはここまで

901

……そう？ やっぱり考えすぎかあ

902

まあ、背は伸びてないもんね。私の身体にすっぱり収まっちゃうし……ふふ

903

んー？ いつまでって言われると……ずっとこうしてちゃダメかな？

904

905

906

907

908 ……うう、分かったよ

909

910 ▼位置…次の台詞を言いながら、右【近】↓前【普通】に移動

911

912 ハグしたままじゃ、暑苦しいもんね……ん、ふう

913 あぁ…君のこと抱きしめてたら、また眠たくなっちゃったなぁ…

914 今日は休みの日だし、もうちょっとだけ、夢の中にいていい？

915 もちろん、君も一緒に

916

917 田舎の神社に、人なんて滅多に來ないし。

918 自然の中でお昼寝するの、すっごく気持ち良いんだよ

919 したことある？

920

921 ……え、あるの？ 一人で？

922 ……その反応、気になっちゃうなぁ

923 ……まぁ、したことあるなら、説明しなくても良いよね

924

925 ▼位置…次の台詞を言いながら、前【普通】↓右【近】に移動

926

927 さ、一緒に横になろっか

928

929 ■効果音…二人が草の上で寝そべる音

930

931 ……ん、はぁ。落ち着くねえ

932

933 (アドリブ・息遣い・数秒)

934

935 蝉の声、いつの間にか聞こえなくなっちゃった

936 今年の夏も、そろそろ終わるのかな

937

938 (アドリブ・息遣い・数秒)

939

940 ……私ね、季節の中で、夏が一番好きなの

941 なんてだと思っ？

942

943

944 ……ふふ、西瓜が美味しいのもあるけどね  
945 名前に、夏が入ってるから  
946

947 ……ほら、小さな夏って書いて、小夏って言うでしょ  
948 だから、かな。春が終わって、夏が来ると…私の季節だって、思うんだあ  
949

950 えへへ、ちょっと恥ずかしいね  
951 こんなこと、誰にも話したことなかったのにな…  
952 ……あーあ。夏がもっと長く続けば良いのに  
953 いっそのこと、終わらないでほしいな…  
954

955 蝉の声が鳴りやまなくて、陽射しが照り付けて、陽炎がゆらゆら、ゆらゆらって…  
956 そして私の隣に、君がいてくれる……そんな夏の日が、このまま……ずーっと  
957

958 (アドリブ・息遣い・数秒)

959 ……君は、どう思う？

960 終わらない夏休みがあれば良いなって、考えたりしない？

961 ……あらら、困らせちゃったね

962 ……でも、そっかあ。夏が終わらなかったら、秋も、冬も……春だって、可哀想だよね  
963 私、ヘンなこと考えちゃった。うとうとしてたかな  
964

965 (アドリブ・息遣い・数秒)

966 ……ん、はあ。思い出した…

967 私、夏が終わる夢を見たんだ…  
968 ……それだけだったら、まだ良かったんだけど  
969

970 夏が終わったたらね、君も一緒に、いなくなっちゃうの  
971 夏の陽炎みたいに、すうっと溶けていって…  
972 手を伸ばしたり、抱きしめようとしても、すり抜けていって…  
973

974 ……ああ。思い出したく、なかったな…

975 ………こんなこと言うの、お姉さんらしくないかもだけど  
976

977  
978  
979

980 ▼演技指示…ここから小声で

981

君の手、握ってても良い？

982

…さつきは、一人だったから、あんな夢を見ちゃったけど  
二人なら、違う夢を見れる気がするから  
今は、君に甘えたいな…

984

985

986

■効果音：主人公が手を動かし、草と擦れる音

987

▼演技指示…小声はここまで

988

989

…あ。君から、なんて…初めてだね  
嬉しいな…

990

991

992

(アドリブ・息遣い・数秒)

993

994

▼演技指示…ここから小声で

995

996

…はあ。君の手、あったかい…

997

…もし、さつきの夢みたいに、離れ離れになることがあっても、また会えるよね  
だって、夏が過ぎたら、紅葉が色づいて、雪が降って…  
桜が咲いた後に、また夏がやって来るから

998

999

1000

1001

君とも、会えるよ…

1002

1003

…ん、はあ。手、離さないでね…。

1004

私が眠った後も、繋いだままが良いな…

1005

夢の中でも、ずっと…

1006

1007

▼演技指示…小声はここまで

1008

1009

…すう…すう…すう…すう…すう…すう…

1010

すう…すう…すう…すう…すう…

1011

すう…すう…すう…すう…すう…

1012

▼演技指示…次の台詞、お休みを小声で

1013

1014

お休み…すう…すう…すう…すう…すう…すう…

1015

1016	すう……すう……すう……すう……
1017	
1018	(アドリブ・寝息・30秒) ※ループ用
1019	

1020 (■トラック6)

1021

1022 ■【主人公】小夏に抱きかかえられている

1023 ■状況：トラック5の続き、二人で添い寝した後

1024

1025 ≪小夏≫

1026 ▼位置：前【近い】

1027 ▼体勢：横になって寝ている

1028

1029 ■効果音：鈴虫の音 フェードインしてループ

1030 ■効果音：抱きかかえられている音 衣擦れ音などで表現

1031 ■効果音：主人公が目を覚まし身じろぎする音

1032

1033 ……ん、起きちゃった？ おはよう。

1034

1035 あ、動かないで……まだこのままでいて……。君を抱きしめると、少し安心するんだ。  
1036 お願い……。せっかく君と一緒にだったのに、また怖い夢を見ちゃって。

1037

1038 ……ごめんね。ありがとう。

1039

1040 ……………。

1041

1042 やっぱり最近の君は、変わったね。大人びてる。

1043 お姉さんの私が甘やかさないと、ってわかっているのに、

1044 どうしても君に寄りかかっちゃう。

1045

1046 ごめんね。こんなお姉さんで、幻滅しちゃった？

1047 私も頼れるお姉さんでいたかったんだけど、君の傍が心地よくて、風通しがいいの。

1048

1049 ……そっか、ありがとう。お姉さん嬉しいよ……。

1050

1051 ねえ、もつと強く、ぎゅーっってしていいかな？

1052

1053 ううん、君にぎゅーっってしてほしいな。

1054

1055 私が離れないように、しっかりと掴んでほしい。

君のもとから離れたくないように、ぎゅっってして。

1056 ■効果音：抱きしめる音

1057  
1058 ……んっ、ありがとう。  
1059

1060 ……………。

1061  
1062 このまま、私の顔を見ないまま、お話を聴いてくれる？  
1063

1064 もしかしたら難しいお話で君には少し早いかも知れないけど。  
1065 でもね、それでもね。君に話してもいいかなって。

1066 君に話を聴いてほしいって思っちゃったの。

1067  
1068 だからお願い、ね。  
1069

1070 ……うん、君は優しくて、いい子だね。

1071  
1072 (アドリブ・息遣い・数秒)

1073  
1074 あのね、私の家族のお話なんだけど。  
1075 たぶん私は家族に愛されてこなかった。

1076  
1077 ううん、正確には愛されなくなったんだと思うの。

1078 小さい頃はピアノを習わせてくれたように、好きなことをやらせてもらった。

1079  
1080 もうあまり覚えてないけど、よく抱っこかしてくれた。

1081 頭を撫でてくれた。抱きしめてくれてたんだ。

1082  
1083 君くらいの年の頃に……お父さんがね、いなくなっちゃたんだ。

1084 お母さんと私の二人だけになっちゃったの。

1085  
1086 (アドリブ・息遣い・数秒)

1087  
1088 お母さんはあまり強い人じゃなかったのかな、少しずつ、本当に少しずつ壊れ始めてきた。

1089  
1090 頑張って私を愛そうとしていた、でもね愛するって頑張ってできるものじゃないの。

1091 自然と思う気持ちだから、愛してるから頑張れるの。

1092 頑張れば頑張るほど愛せなくなって、いつからか頑張ること辞めちゃったんだと思う。

1093

1094 そこからのお母さんは、たぶん私のことを好きじゃなくなったんだあ。

1095

1096 ピアノもお金がかかるから無駄だって。昔は褒めてくれたのにね……。

1097

1098 ご飯も作ってくれなくなった。一緒に寝てくれなくなった。

1098

1099 昔はしてくれた耳かきも、自分でやりなさいって、してくれなくなったんだあ。

1100

1101 子供だったけど、お母さんの感情の変化は感じ取っていた。

1101

1102 子供だから、わかっちゃった部分もあったんだろうね。

1102

1103 お父さんのいた家族には戻れないことを知ってから、私もだんだんと心が冷たくなって。

1104

1105 お母さんに興味を持たなくなっちゃった。

1105

1106 私は今でもお母さんが好きなのかなって、

1106

1107 自分で自分に問いかけても、答えは返ってこないの。

1108

1109 もしも、最初から愛されていなかったら、こんな気持ちにはならなかったのかな？

1110

1111 大好きなお母さんを知ってるから、優しい温もりを知ってるから……

1112

1113 こんなに心が痛いのかな？

1113

1114 また愛してほしい、また甘えたい、また抱きしめられたい。

1115

1116 ただ、それだけ、なんだ。

1116

(アドリブ・息遣い・数秒)

1117

1119 小夏って名前はお母さんとお父さんが付けてくれた名前なんだあ。

1119

1120 私はこの名前が好き。二人からのプレゼントで、とっても綺麗な愛がこもってるから。

1120

1122 だからたぶん、私はまだ二人が好きなんだ。壊れて、ちぎれて、もうもとは戻らないけど、

1122

1123 それでも思い出の二人はいつも笑ってる。

1123

1124 私に優しく微笑んでくれる。

1125

1126

1127

(アドリブ・息遣い・数秒)

1128 きっと私は理想の家族を知ってる。  
1129 その理想を君で叶えようとしちゃったんだあ。  
1130

1131 甘やかして、抱き付いて、耳かきをして、一緒に寝たり。  
1132 自分勝手なお姉さんだよね、私。  
1133

1134 (アドリブ・息遣い・数秒)  
1135

1136 うん、これでお話はおしまい。  
1137 優しい君には嘘はつきたくなかったの。  
1138

1139 我儘な気持ちすら隠したくなかった。  
1140 ごめんね。そしてありがとう。  
1141

1142 (アドリブ・息遣い・数秒)  
1143

1144 ……。夏が終わる、ね。  
1145

1146 (アドリブ・息遣い・数秒)  
1147

1148 ■効果音:少しの間 環境音  
1149

1150 うん？ なぁに？ いいよ、お姉さんになんでも言って……。  
1151 君のお願いならなんでも叶えて、あげる。  
1152

1153 ……相談？ うん、いいよ聴いてあげる。  
1154 ちっきのお返しだね。くく  
1155

1156 ▼演技指示:少し悲しそうに  
1157

1158 ……好きな子がいるの？ え、それって誰、なのかな？  
1159

1160 同級生の子？ それとも年下の子？ もしかして先生とか……。  
1161 ……年上の人？ そっか……君には甘えられる人がもういるんだね。  
1162  
1163

1164 そっか、うん……応援しなきゃ、ね。

1165

1166 (アドリブ・息遣い・数秒)

1167

1168 ▼演技指示:悲しげに 小声で

1169

1170 手に溜めた水が指の隙間から滴り落ちる。気づいた時には掌は空っぽ。  
1171 君も、離れていくんだね……。

1172

1173 ううん、なんでもないよ。そしたらもう私とは会わない方がいいね。  
1174 好きな子がみたら勘違いされちゃ——。

1175

1176 ■効果音:抱きしめる音

1177

1178 ひゃっ……ど、どうしたの？ 違うって、なにが？

1179

え？ 好きな人？ だからそれは学校の先輩とかでしょ？

1180

……え？ わ、私？ ふえ君が好きな子って……私なの？

1181

え？ え？ あ、お姉さん、絶賛混乱中だよ

1182

そ、そっか、君は本当におませさん、だね。え、えへへ。

1183

(アドリブ・息遣い・数秒)

1184

君の気持ちは凄く嬉しい……。嘘じゃない、これは本当。

1185

でも、でもね……ごめんね。君と付き合うことはできない、かな？

1186

1187 ▼演技指示:囁くように

1188

…………。ごめん、ね。

1189

1190 ■効果音:抱きしめる音

1191

君とは付き合うこと、できないけど、恋人にはなれないけど……。

1192

出来れば私のことを忘れないで、ほしい。

1193

1194

1195

1196

1197

1198

1199

1200 ううん、いなくならないでほしい。  
1201 もう誰も私の傍からいなくならないで……。

1202  
1203 (アドリブ・息遣い・数秒)  
1204

1205 ごめんね、こんな我儘なお姉さんで、ごめんね酷いお願いをして。  
1206 君とは付き合えない恋人にもなれない、でも離れて欲しくないんだ。  
1207 この夏が終わるまでは、君と一緒にいたい。

1208  
1209 ……ごめん、ごめんね。

1210  
1211 (アドリブ・息遣い・数秒)  
1212

1213 ……いいの、本当に？ ずっと一緒にいて、くれるの？  
1214 こんな酷いこと言ってるのに……。

1215  
1216 ごめんね。ありがとう。

1217  
1218 本当はこんな酷いことを告げる気はなかったの……。  
1219 ちゃんとお別れをして、君には明日からも明るく過ごしてほしい。

1220  
1221 でも、君がこんなにも甘えてくれて、甘やかさせてくれた。  
1222 なにより、私を甘やかしてくれたから……自分に、そして君に嘘は付けない、よ。

1223  
1224 (アドリブ・息遣い・数秒)  
1225

1226 あのね、私、この町を出ていくの。夏が終わったら……もうここには戻れない。  
1227 だから君と会うのはこの夏が最後かもって思っていた。

1228  
1229 弟のような君を——ここ最近はなんだか大人びた君を  
1230 甘やかして、その実甘えてて、夏の匂いを胸にしまっていたんだあ。

1231  
1232 この夏はすごく楽しかった……。

1233 行く当ても、帰るあてもなく、ただ喧騒から——親から逃げて私はこの神社に来た。

1234  
1235 心を閉ざして、夏の終わりをただ待っていた。

1236 でもね、そんなときに君が来てくれた。迷子の君が来たんだ。  
1237 目に涙を溜めて、でも地面にこぼさないように必死耐えてる可愛い男の子。  
1238

1239 その姿がなんだか私に重なる。私の心と重なったんだあ。  
1240 だから君のことを放っていけないくて……声をかけた。  
1241

1242 迷子になって、独りぼっちで頑張っていた君はこらえきれずに私の胸で泣いてくれた。  
1243

1244 ふふ、ごめんね。恥ずかしい思い出だったかな？  
1245

1246 でも、君が泣いてくれたから……きっと私も泣けたんだよ。  
1247

1248 君に姿を重ねたから、きっと私も泣くことができた。  
1249

1250 涙が地面に落ちるのを霞んだ視界で見えていた、君を胸に感じながら。  
1251

1252 それがどれだけの救いだったか、きっと誰にもわからないよ。  
1253

1254 これは私の思い出だからね。ふふ。  
1255

(アドリブ・息遣い・数秒)

1256 神社を降りて、君と再会の約束をして、その日は別れた。  
1257

1258 次の日から君が来ないかなって、ワクワクしながら待っていた。  
1259

1260 読書に集中できないくらい、ちらちらと神社へ通じる階段を見ていた。  
1261

1262 君を待ち焦がれたいたんだ。  
1263

1264 それから何度も君は私に会いにきてくれた。  
1265

1266 君は私を見てくれた。それが嬉しかった。  
1267

(アドリブ・息遣い・数秒)

1268 それもこの夏でおしまいなのがとても悲しいなあ。  
1269

1270 紗夏、夏の終わりを告げる言葉なんだけど。  
1271

夏が終わって、私がいなくなっても、私のことを思い出してほしいなあ。

1272

蝉の声を聴いた時、私を思い出して。

1273

風鈴の音色が耳に届いたら、私を思い出して。

1274

西瓜の匂いを感じたら、私を思い出して。

1275

夏がくるたびに、私を思い出して、君の心に私を置いて。

1277

……。そして夏が終わったら、私を探しに来て。

1279

私も君のことを忘れないから。きっと私も君を探す。

1280

君の陽炎を求めて絶対君を探し出すから、ね。

1281

約束、しよ。

1282

……。うん、約束。

1284

(アドリブ・息遣い・数秒)

1287

今日はこのまま寝ちゃお？ 君の親御さんは心配するかもしれないけど、

1289

今日は離したくない。最後まで君を感じたい。

1290

ぎゅってしながら眠りにつきたい。

1291

ね？ いいでしょ？

1292

ありがとう。君の優しさに私は救われてるよ。

1294

君も私のことを忘れないように、私の心臓を音を聴いて。

1296

とくんとくんって鳴いてる音を聴きながら眠りについてほしいなあ。

1297

……。ん、それじゃ、おやすみなさい。

1299

また明日……。また明日も会おうね、約束。

1300

(アドリブ・寝息・30秒) ※ループ用

1302

1303

1304

(■トラック7)

1305  
1306  
1307  
1308  
1309

■効果音:北風の音(冬らしい音) フェードインからループ

《巫女》

▲位置:前【正面】

1310  
1311  
1312  
1313

お帰りなさいませ。追憶の旅路は如何でした？

1314  
1315  
1316

夏の陽炎が眩いほど視界を覆ったかもしれませんが、それは泡沫であり、現実ではありません。

1317  
1318  
1319  
1320

けれど記憶と心には陽炎の温度と泡沫の涙が刻まれていることでしょう。

■効果音:ハンカチを差し出す音(衣擦れ音などで表現)

1321  
1322  
1323

……どうぞ、ハンカチをお使いください。  
涙が出ますよ。

1324  
1325

いつかの迷子の子も涙を零し、心が迷子になっていた少女も涙を流していた。

1326  
1327

……いいえ、私は知りません。私はここに仕えるただ巫女ですから。

1328  
1329

追憶はあなたの、あなたたちだけの思い出です。

1330

さあ追憶の旅はここで終わりです。

1331  
1332

あとは現実をどう歩んでいくか……。どう進んでいくのかを考える時間になります。

1333  
1334

心残りが晴れているなら行動をすることをお勧めします。

1335  
1336

秋が過ぎ、冬が終わり、桜が散り、夏が来ます。

1337  
1338

紗夏が来る前までに——探してみてはいかがですか？

1339  
1340

迷子の女の子は今もきつと泣いていることでしょう。

1341 ……は。行つてらつしやませ。  
1342

1343 (■シークレットトラック)

1344 ※モノラルマイクで収録予定※

1345

1346

1347

1348

1349

1350

1351

1352

1353

1354

1355

1356

1357

1358

1359

1360

1361

1362

1363

1364

1365

1366

1367

1368

1369

1370

1371

1372

1373

1374

1375

1376

1377

1378

《小夏》

夏の陽炎を追っている。目の前にゆらゆらと陰りを見せる陽炎を必死に。

「(走っている吐息・数秒)」

実態のない陽炎を探して足を動かす。

前へ前と、あの夏の後悔を振り払うように。

後ろを悔いることないように、必死に足を前へ。

巫女さんの言葉がこだまする。後悔はないのかと。

ある、後悔なんてあるに決まっている。

ずっと心残りだった。心の底にしまっていた後悔がある。

あの夏に一人の少年を傷つけた後悔が――。

目の前に、実態の灯った陽炎が：見えた。

「はあ、はあ……あ、あの」

■効果音：振り向く音

一人の男性が振り向く。

微かに夏の匂いを残した面影が私の顔を見て驚いたように目をみひらく。

「と、突然声をかけてしまって、すみません」

男性はふんわりと温かい笑みを浮かべて「どうしました」と口を開く。

思ったより低い声で少し驚いた。年相応の落ち着いた声。

1379 言葉が詰まる。いきなり知らない人に声をかけられても困るだけ。

1380 そう思うと頭の中が白に染まり固まってしまう。

1381 その様子を見て、男性がまた言葉を紡ぐ。

1382

「もしかして迷子ですか」と。

1383

優しい瞳をした男性は……少しからかうように笑みを見せた。

1385

1386

「そう、ですね。迷子なのかも知れません」

1387

「あの夏からずっと、迷子です」

1388

1389

唇を震わせて、精一杯に声を絞り出す。

1390

そこには変わらずにいた、君がいる。

1391

1392

1393 ■回想

1394

《巫女》

後悔はありませんか？心の奥底に癒えない傷はありませんか？

1396

誰にも云えない傷はありませんか？

1397

1398

もしも後悔をやり直せるなら……あなたならどうしますか？

1399

陽炎が揺れてたゆたう視界の先に望むものはありますか？

1400

1401

《小夏》

数えきれないほどの後悔があります。もしもを考えなかった日はないかも知れません。

1403

ですが陽炎の先に待ち受けるのは泡沫——水面に浮かぶ泡のように、

1404

弾けて消えてしまうのでしょうか？ここはそういう神社だったと記憶しています。

1405

1406

ですから、私は後悔を胸に抱いて生きることになります。

1407

1408

《巫女》

1409

……そうですか。

1410

1411

追懐の情に思いを馳せる人のみ、この追憶の社は姿を現します。

1412

あなたは後悔を胸に抱えたまま、人生の幕を閉じるつもりでしょうか？

1413

1414

1415 ‹‹小夏››

1416 はい、それがあの日、あの子の気持ちに気づかないふりをして傷つけた罰ですから。

1417

1418 ‹‹巫女››

1419 ……。それが貴方の選択であるのですね。

1420 ではひとつお話をしましょう。

1421

1422 これは追体験をした一人の青年のお話です。

1423 淡く青い恋心を宿したまま成長してしまった、一人の青年が追憶の旅に出たお話です。

1424

1425 目をつむり…：耳を傾けて下さい。聞こえてくるはずです夏の音が。

1426 —過去の音色が。

1427

1428 ■回想終了

1429

1430 ずっと覚えていてくれた。昔の思い出を。

1431 幼い頃にほんの少し二人の人生が交差しただけの刹那の思い出を。

1432

1433 巫女さんが語る。鈴を鳴らしたような落ち着いた声で、君の追憶を語る。

1434

1435 心残りだったのは私だけじゃなく、君もそうだった。

1436 そして癒えない傷を植え付けたのも自分だとわかり涙が出た。

1437

1438 けれどやっぱり優しい君は、私に負の感情なんて見せずに、ただ私を甘やかしてくれた。

1439

1440 私の記憶にない私を甘えさせてくれた。きっと彼女は救われていた。私は救われていた。

1441

1442 ほんの少し踏み込んでいけば、君に甘えていけば、きっとこんな後悔は抱かずに、

1443 今も君の隣に私はいたのかも知れない。

1444

1445 巫女さんは君の追憶を語り終えて、さらに言葉を紡ぐ。

1446

1447 ‹‹巫女››

1448 「まだ、間に合うはずです。陽炎のような勇気を出してみてもどうでしょう？」

1449

1449 「もう後悔がないように、この追憶の社が貴方の前に現れないことを切に祈っております」

1450

その言葉を聴き、私は神社を飛び出すように後にした。

1451 そして今、なけなしの勇気を振り絞り君と邂逅した。  
1452 何年ぶりだろう。ずっと探していた君の面影が目の前にある。  
1453

1454 背が私より大きくなって、目元を少しキリっとしてる。  
1455 男の子が男の人へ変わったのだと大きく実感した。  
1456

1457 こんなにかっこよく成長しちゃって。お姉さん少し照れるちゃうよ。  
1458 あわあわと考えあぐねいると、夏のようなさわやかな笑みで。  
1459

1460 「よかったら友達になりませんか？あの夏みたいな関係に」と、  
1461 ふんわりとした声で言ってくれた。  
1462

1463 「うん、またあの夏みたいに——」  
1464

1465 ■効果音: 蝉と風鈴の音フェードイン  
1466

1467 風鈴の音がする。セシの鳴き声がかかります。西瓜のいい匂いがする。  
1468 縁側の隣には君がいて、傍らには耳かき棒。  
1469

1470 今年も夏がやってきた。いったいいつぶりの夏かな？  
1471

1472 ううん、そんなことは考える必要はないね、  
1473 だってこれからはずっと君が隣にいてくれるから。

1474 お姉さんいっぱい甘やかして、甘えちゃうぞ。ふふ。  
1475

1476

End